

水害対応説明会での主な発言

2005年11月2日・7日・9日・10日、野方・南中野・江古田・大和4地域センターで、8月15日、9月4日の集中豪雨で浸水被害を受けた地域住民を対象とした説明会を、区（土木・地域活動・防災）と東京都第三建設事務所・下水道局合同で開催しました。

これは、両日の被災状況や区の対応、河川や下水道の整備計画、区の職員態勢の見直しなどについて説明したものです。

日時・場所・参加者数

- ・ 11月2日(水曜日)午後7時～9時30分・野方地域センター・130人
- ・ 11月7日(月曜日)午後7時～9時00分・南中野地域センター・38人
- ・ 11月9日(水曜日)午後7時～9時30分・江古田地域センター・63人
- ・ 11月10日(木曜日)午後7時～9時50分・大和地域センター・59人

主な発言

1.治水対策に関すること

- ・ 神田川中心の治水対策になっていないか
- ・ 川床の掘り下げや護岸のかさ上げによる対策は考えてないのか
- ・ 川があふれなくても内水が出るのはどうしてか
- ・ 50ミリ対策はどのような観点から計画されたのか。河川の流量はどのように計算するのか
- ・ 都市型水害を解消するには緑地を増やすことが大切だ。地球温暖化やヒートアイランド対策を考えることから始めるべきだ
- ・ 短時間に川へ流入しないような施策は考えているか
- ・ 河川の50ミリ改修の進捗状況と工事予定はどうか
- ・ 河川の改修を下流から着手せず、被害の発生地域を優先的に行う考えはないのか
- ・ 20ミリ度の雨でも下水の逆流があるがなぜか
- ・ 下水の「クイックプラン」がどう影響するのか
- ・ 下水の合流式は衛生面に問題があるがどうか
- ・ 調節池が十分に機能しなかったのではないか
- ・ 江古田川に対応する貯水池を設置する予定はないのか

2.環七地下調節池に関すること

- ・ 取水口が3か所になった場合、その取水量の調節をどう考えるのか
- ・ 取水の方法は手動式なのか
- ・ 取水開始などの情報提供をしてくれないか
- ・ 完成状態と時期はどうなっているか
- ・ 取水のタイミングを早めにはできないのか
- ・ 排水にどのくらいの時間を要するのか
- ・ 妙正寺川の取水口が完成したときの効果はどうか

3.被災者支援に関すること

- ・ 使用済みの土のうを区で回収してほしい

- ・ 排水ポンプや止水板の購入助成をしてほしい
- ・ 後片付けのボランティアを派遣してほしい
- ・ 高床の規制緩和と助成を復活してほしい
- ・ 区民の自助努力で有効なことは何か
- ・ 都はどのように水害を防ぐつもりか
- ・ 都への要望について実現の見通しはどうか
- ・ リサイクル家電製品の処分費用を負担してほしい
- ・ 区の排水ポンプの能力を高め、取り残しがないようにしてほしい
- ・ 見舞金制度があることなど積極的に情報提供してほしい
- ・ 区は、損害補償や助成面をもっと考えてほしい
- ・ 江古田川の現状は30ミリ対応ということか
- ・ 江古田公園にあった塀を1メートルに戻してほしい

4.情報提供に関すること

- ・ 防災行政無線の音声が届かなかった、聞こえても何のメッセージが分からなかった
- ・ 日常でも防災無線が届かない。調査してほしい
- ・ 避難の呼びかけを早めにしてほしかった
- ・ 水害時の避難場所はどこになるのか
- ・ 妙江合流地点のサイレンが鳴らなかったのはどうしてか
- ・ 避難場所や車両避難場所がどこか分からなかったので情報提供してほしい
- ・ CTN テレビも停電になると視聴不能となる。その場合の対策はあるのか
- ・ 転入者に対する水害情報の提供やアドバイスが必要なのではないか
- ・ どの地点で溢水(いっすい)があったのか
- ・ 河川の水位表示を増やし危険水位を示してほしい
- ・ 新築時に水害情報の提供や水害対策の指導をしているか

5.その他

- ・ 河川側道が痛んでいる。護岸の安全性にも不安がある
- ・ 水位が急激に下がったのはなぜか
- ・ 護岸崩壊の原因は何か。護岸調査の時期と調査結果を知らせてほしい。改修も考えているのか
- ・ 交通規制が必要、警察との連携はどうだったのか
- ・ 避難車両用ステッカーを作って配布してほしい
- ・ 車両避難所を指定してほしい
- ・ 野方の立坑工事現場の歩行者に対する安全確保に配慮してほしい(標識の設置等)
- ・ このように被害が拡大した原因は何か
- ・ 100名態勢をとるとのことだが、増員する必要があるのではないか
- ・ 車両避難所を早めに開放してほしい。開いていないところもあった
- ・ 河川管理用通路に植木鉢が占拠した状態を解消してほしい